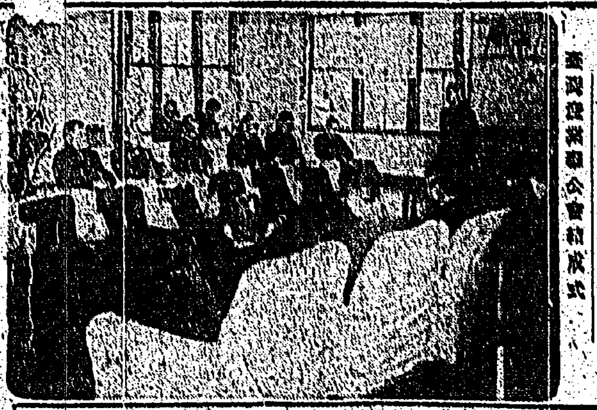
臺灣日日新報　夕刊　三月三十一日

132596

臺灣産業奉公會結成式

決戰の勤勞最高發揚

皇奉傘下に强力の發足



臺灣産業奉公會結成式

産報精神を昻揚

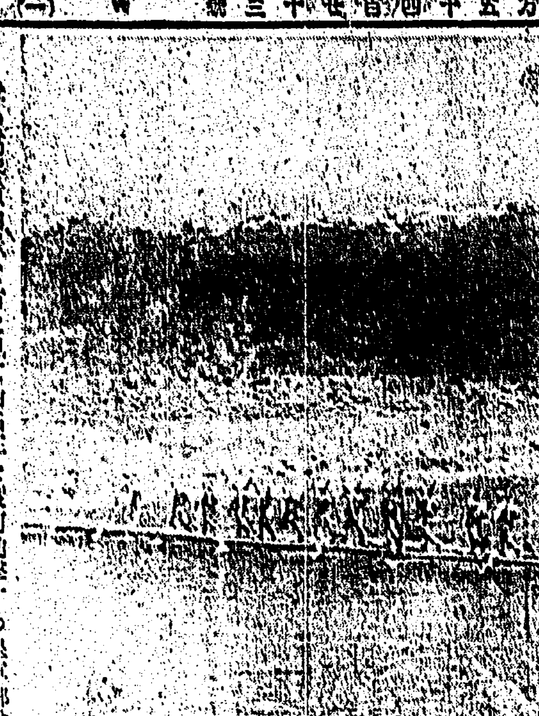
生産力增强に寄與

本部長の訓示

國民運動團體として

産業奉公活潑展開

山本皇奉事務總長談



霧の高黎貢山脈を右に見て由名江を渡河進撃する皇軍部隊

人氣地に墜つ

ルーズベルト

大統領の任期制限運動

反感は

失脚し

軍人援護後援會設立

事業資金の造成に活躍

南方の動向等說明

大東亞省委員全體會合

赤軍の反攻挫折

戰局一轉の鍵　ドネツ盆地(上)

石炭の大中心地

赤軍の戰死六萬餘

スタラヤ・ルーサ激戰

訪米使命全く水泡

イーデン今度はカナダへ

ドニエプル西岸

大機甲戰を展開

ドーヴァー海戰

獨快速艇隊、英艦艇と激戰

敵の包圍企圖粉碎

枢軸軍、新陣地に移る

荒鷲、オロ灣を爆撃

印度民衆の不滿深刻

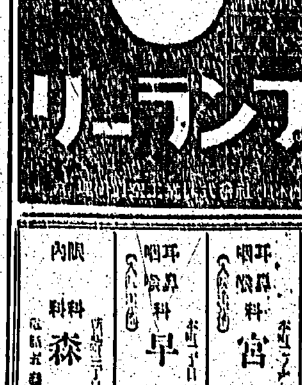
自治に對する反感險悪

審議室新設

情報局の機能强化

中等學校長の一部異動

人事



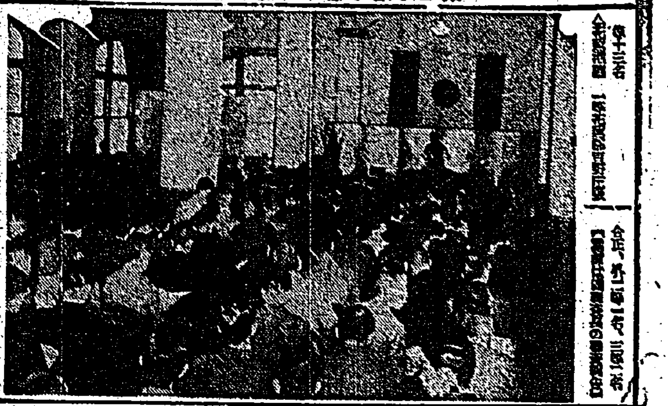
於保診療所	內科 小兒科 天野醫院	耳鼻咽喉科 天野醫院	耳鼻咽喉科 藏田醫院	產婦人科 福田醫院	皮膚科 泌尿器科 千本醫院	內科 秋山內科醫院	耳鼻咽喉科 菅村醫院	齒科 青木齒科醫院	皮膚科 泌尿器科 三船丸醫院	眼科 塚原眼科醫院	外科 菅沼醫院	外科 菅野醫院	眼科 牟田口醫院	外科 皮膚科 泌尿器科 一番ケ瀬醫院	小兒科 武藤醫院	小兒科 石井小兒科醫院	內科 小兒科 富田醫院	小兒科 信生堂醫院	齒科 平川齒科醫院	耳鼻咽喉科 宮島醫院	耳鼻咽喉科 早田醫院	內科 眼科 森醫院

臺灣醫師會、齒科醫師會
けふ設立 決戰下醫道報國へ

醫療道德に徹し 使命の達成切望
總督告示

百八石の最高記錄 陳羽氏に總督賞
臺灣農會主催 多收競作褒賞授與式

甘藷多收競作會



更に耕種を改善 增產に邁進望む
齋藤會長の式辭要旨

雪中を急進擊する砲隊

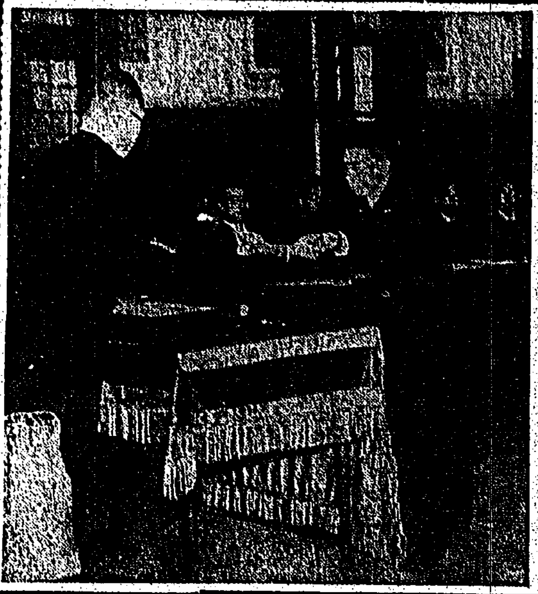
國防、恤兵金に 二萬二千圓獻金

建艦へ硬貨獻納

恐るな大型燒夷彈
隣組の挺身活動で擊滅

大型油脂彈の場合

大型黃燐彈の場合



看板を警防協會に
臺灣消防協會新發足

計畫造船の第一船 目出度く進水す
高雄造船報國會の努力結實

物言はぬ戰士慰問

國防獻金

基隆市の市稅 前年に比し十二萬圓增

愈よ特別行爲稅實施
勝拔く爲めの決戰增稅

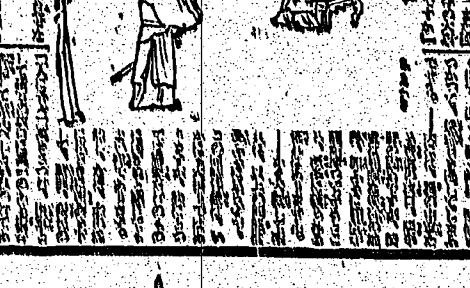
主婦錬成會

新設四中等校 生徒を募集

大橋校の發火原因 放火と判明す
島都北署で犯人檢擧

"仇は討つて上げます"
岡村好郎君"對面"で誓ふ

末恐ろしい少年



後三國志（出師の卷）（61）
吉川英治作　矢野橋村畫

淋巴腺結核（るいれき）
困い方には

結核專門藥
戰時下日本の待望せる 專門新劑遂に完成！

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

萬古に薫る忠靈弔ふ
嚴かに合同海軍葬儀

高橋呉鎮守府長官 弔詞

山本聯合艦隊司令長官 弔詞

冷仙州團長歸順
部下三百五十を率ゐ

新化、安化、蒙化を急襲

第二次 督府人事大異動

樞府本會議

米英の對立表面化
堀第三部長痛烈に指摘

跋扈

醜惡

希望

英國

露骨

主張し

不平

問題

滿國首腦部大異動

勅任官昇進十四名
優遇令により昇敍

松永中將、清水商船校長
豊原遞信局長に堤氏

駐日大使に蔡培氏
國府行政院會議で決定

蔡培氏略歷

國府建設の功勞者に勳章

兩内政部長を補充

陸軍司政長官

土木建築の規格
大綱を制定公表

中國治外法權 丁抹も撤廢か

關東局外務部長

バーモ長官ら 神宮に參拜

重光駐華大使 近く歸京

商船五隻撃沈 獨空軍の活躍

ソ聯、反樞軸會議へ 代表派遣を發表

六十二億磅 英、明年度豫算

人事

けふの官報

糖尿病

中央公論 四月號 (八十錢)
(卷頭言)
知性の轉向・酒枝義旗
物質と精神・湯川秀樹
國學の源流・小田切秀雄
(難波紋吉・清水幾太郎)
東亞國際法論の課題……田畑茂二郎
東大寺大佛讃歌十首……會津八一
☆中央公論文藝賞第二回決定發表
☆特別編輯 土屋清・大熊信行・猪木正道・藤島俊・美濃口時次郎
轉廢業者とわれわれの共同使命
勝率は獨逸に傾けり　伊藤正德
法隆寺の刀・末永雅雄
箱根用水の話・高倉テル
東方の門 島崎藤村
國民校參觀記・三島新吉
國平の思ひ出・茶谷半次郎
(詩)たたかひの跡・北川冬一

大洋
海の綜合雜誌 海の時局雜誌
海運戰爭の現況 座談會
海運政策の諸問題…池崎忠孝
海運と文化及び戰爭…高木友三郎
海上輸送戰線の現狀…一色中尉
アメリカの對中南米政策
宣傳戰のヤンキー的性格
われは東鄕君は乃木
四月十日の丸木造船進軍
造船所俳句會
日本最初の西洋型軍艦
平賀讓君を憶ふ
近代海戰と科學…濱田昇一
盲目魚雷その他…立上秀二
前進基地出撃 湊邦三
天竺德兵衞
掃海艇の士官
俘虜にきく海戰
新日本海軍史 黄海海戰 木村毅
四月號 定價四十錢
文藝春秋社

現代 四月號
戰ふ日本の綜合雜誌
言靈のたすくる國 山田孝雄
戰力增強と民族構造…難波田春夫
敵の戰爭目的…花見達二
決戰期の政治指導…中野登美雄
昭和政記 御手洗辰雄
讀畫樓隨筆 竹越與三郎
ミンダナオ中心說…田中末廣
先覺と思想の威嚴
轉廢業の前進 (豊田商工省企業局長と木村武太夫氏對談)
共産八路軍捕虜
現地座談會
敵
八十錢 大日本雄辯會講談社

社説

彼我船舶保有の現況
戰爭勝敗の動向を示唆す

臺灣製鹽業依然重要
滯貨處理條件好轉

臺灣茶檢查高增加
十七年中に於る茶業事情

島都南北警防團
役員一日附で發令さる

團、分團幹部顔觸れ

平、戰時の兩道に備へ
齋藤臺北州警察部長談

榮譽の五氏
水稻多收競作會入賞者

愛林思想を普及
督府山林課の多彩な催し

高額所得者の貯蓄
十八年度の標準決定す

決戰下の警務行政に萬全
田中府警務課長談

決戰態度を冒瀆するもの

寸隙

主要食糧製造資材
米穀納入協會で調整斡旋

食糧局人事異動發令

增稅新行

決戰財政の確立
全島民の協力を要望

砂糖消費稅

清涼飲料稅

特別行爲稅

出港稅

馬券稅

戰時災害減免

臺灣統治史に燦然 光彩放つ新年度

第二回大東亞文學者大會

小波洋裁 生徒募集
科目 速成科 本科
開講 昭和拾八年四月五日
講師 東京伊藤洋裁研究所卒業

今日の映畫 大世界

海南島自動車部 運轉手技工募集

エビオス
胃腸に……
消化不良 常習便秘 神經倦怠
エビオスの投與は豐富なB群の作用により、食慾不振、消化不良、便秘、下痢…などの胃腸機能を整調化するのみならず
……全身的に榮養佳良ならしめ、胃液の分泌を促進し腸管の蠕動を活潑にして…食物の完全消化を計る
大日本麥酒株式會社

心臓や胸を芯から丈夫にする
古來の皇漢醫道、並に現代ホルモン藥理上、優れた効目を謳はれる、猛獸や強精動物のホルモン精腺、麝香・犀角・熊膽・牛黃・眞珠其他配伍の「救心」
動悸、息切れ 熱ね汗を去り 食を進ませる
救心
朝一夕一粒
發賣元 救心本舖

胃腸整調に エルビオゲン錠

臺灣統治史に燦然 光彩放つ新年度

完勝へ擧島一致邁進せん

勝ち抜く戰時生活

全島婦人の總力發揮

日婦臺灣本部 新年度指導運營大綱

一、方針

二、實施要綱

第一、本會機構の完整

第二、指導要綱

婦人の戰力結集

長谷川日婦臺灣本部長談

本島防衞に强力發足

新設警防團 粒選りの精銳網羅

警察系統に事務移管

藝能神奉齋祭

澎湖廳勅令交付式

新制師範學校

臺北、臺中、臺南の三校

けふ位置、名稱告示さる

▲臺北師範學校

▲臺中師範學校

▲臺南師範學校

根本は「人の和」

今後は實行あるのみ

中堅有識青壯年座談會

サア今年度は"四億"だ

擧島一致完遂へ驀進

目標六百萬島民

"達成せよ貯蓄目標"

督府財務局島民へ絕叫

砂糖特別消費稅

清涼飲料稅

戰時災害減免

故國からの寶船

海の勇士が歡喜する給糧船

海の前

新鮮な

肉彈部

懸命に努力

立川臺中州總務部長談

お酒、ビール

一日から一齊增稅

第二回大東亞文學者大會

上司の御指揮で粉骨碎身

天岩商政課長談

米英擊滅彈丸切手

けふから一齊に發賣

藤村新竹知事 三日正式赴任

小波洋裁 生徒募集

科目 本科 速成科

開講 昭和拾八年四月五日・同五月五日

講師 東京伊藤洋裁研究所卒業

申込所 小波洋裁店

第四十六回貸借對照表(昭和十八年二月末日現在)

桃園軌道株式會社

第三回決算公告(昭和十八年二月二十八日現在)

臺灣茶業株式會社

第六期決算報告(昭和十七年十二月三十一日)

龍潭茶業株式會社

今日の映畫演藝

大世界　臺灣　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場

台北合同興業株式會社

基隆の映畫

今日の國際館 當分の間休館仕り候

世界館　中央劇場　基隆座

妻 儀 病氣ノ處三月三十一日午前二時永眠致候間此段謹告仕候

男 永田源三郎 永田英二 英世

女 寺島重之 石橋喜平 池田又四郎 中島道一治 代人

父 有土儀 病氣療養中ノ處本月卅日午後六時十分自宅ニ於テ永眠致シ候間此段謹告申上候

張萬子 林淡 林德 許智 友人 張 陳 佛 旺 貴 同

會葬御禮 西林大 西林美 登

會葬御禮 塚本英親

夫 黑田秀博 儀病氣の爲三月三十日午前四時三十五分急逝仕候間生前の御厚誼を深謝し此段御通知申上候 追而來る四月二日午前十一時より十二時迄臺北本願寺に於て告別式相營可申候尚御供物等の儀は堅く御辭退申上度候 昭和十八年三月三十一日 妻 黑田富美子 外 親戚一同

弊社取締役黑田秀博殿三月三十日永眠致候に付四月二日午前十一時より鹽水港製糖本社齋場に於て告別式を執行可仕候 昭和十八年三月三十日 鹽水港製糖株式會社 臺灣パルプ工業株式會社 新興產業株式會社

弊社社長黑田秀博殿病氣の爲め三月三十日急逝致候に付此段謹告仕候 昭和十八年三月三十日 臺灣拓殖工業株式會社

民事、刑事、法律事務 辯護士 古山春司郞 事務員 林 臺北市南門町三ノ二五

國報康健

◎戰時だ働かう 諸中毒患者の福音 朝日文化賞に燦く 酒井由夫博士發見 慢性及急性諸中毒治療劑 アイ・エム

代理店 台北市建成町三 東京堂藥局

元花家ホテル 中地えみ

廢業御挨拶

弊店儀永年特別ノ御引立ヲ蒙リ御蔭ヲ以テ無事營業罷在候處今般家事ノ都合ニ依リ三月三十一日限リ廢業致候間此段以紙上謹告仕候 追而從前ノ場所ハ大日本航空會社乘員俱樂部ト相成候得共私等ハ其儘在住致居候間左樣御諒承被下度候 昭和十八年四月一日

海南島自動車部 運轉手技工募集

希望者(三ヶ年以上經驗者)ハ履歷書ニ寫眞添付ノ上申込ノ事 臺北市榮町 臺灣拓殖株式會社南方第三課

▲壯丁團員の消火作業▼

今日ぞ！壯丁團へ訣別の日

大東亞戰下 皇民精神の"母胎" 空の防人、勞務奉公團として活躍

警防史上に不滅の功績（下）

保甲局

阿片吸

嚴正な

犧牲的

歷史と

空の防

征くぞ米英邪蕩の大空へ 許君(屛東市大宮町)見事陸の若鷲に合格

擧州一致戰爭完遂へ 新任藤村新竹州知事、着任第一聲

軍人遺家族慰安會

臺北州警察幹部異動

新竹州奉公會役員決定

感謝を捧げよ 物言はぬ戰士 新竹州「愛馬日」の催し

部隊長を最期まで想ふ絕筆 大平上等兵の方作戰に散華

皇后陛下御下賜品傳達式

時局突破へひと役 臺東部中堅女子青年錬成會

讀書 兒童に讀ませたい「推薦、認定圖書」 臺灣圖書館協會

花蓮港廳下警防團結成式

新竹州下警防團幹部任命

新竹市警防團幹部任命

腸チフス豫防注射實施 臺北市衞生課

宜蘭郡道路協會總代會

赤誠の獻金

軍司令部(軒二)

ラジオ

第一放送

第二放送

大いなる祭 (104)

中野實 作 三芳悌吉 畫

犧牲者(1)

臺灣の獨學青少年諸君へ……

自宅で習へる中學講義錄

東京雄信學校

さくらフヰルム さくら印畫紙

小西六寫眞工業株式會社

御挨拶 改裝

決戰下映畫大講堂の出現

國民文化向上健全娛樂の殿堂

市民各位御待望の文化映畫專門上映館として新世界館を大改裝中のところ漸く豫定通り竣工、四月一日より華々しく開館の運びに至りました 大東亞戰決戰態勢下に於ける國策の宣傳啓發と青少年教育機關として其の使命達成の上に職域奉公に專念致したいと存じます 今後一層大方諸彥の御支援を懇願いたします

株式會社 臺北合同興行會社

四月一日開館

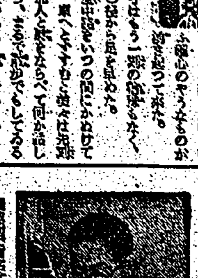
均一 全部10錢

新世界館

中風・高血壓・神經痛 不治でない

原因を明にした

今津博士の素晴しい研究



株式名義書換停止 興亞製鋼株式會社

海南島行職員 國際電氣通信株式會社

香港 マニラ 昭南 ビルマ 海南 事務 事務 外務 集金 タイピスト タイプ 炊事 婦人 見習 產婆

小店 女給 女中 拓南 大和 技藝 福迫 アザ 貸事 住宅 住宅 戰時 醬油 三春 婚禮 ラジオ レコード

中野高等無線電信學校

行け南方共榮圈へ大陸へ 大日本海外青年會

ピアノ 引越 引越 引越 陸上 京染 更生 バナナ メガネ 新食 石鹸 ミシン ミシン ニカワ 萬年 萬年 毛深